

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第2学年 「生活（東京書籍）」

63時間（60%）

週	指導要領の 主たる内容	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	(5) (9)	1. 春だ 今日から 2年生	①春を さがそう	—	・次の小単元の導入のところで、教科書の春をさがそうや「春のくらし」について触れる。 ・学校のことについて伝えたいことを、1年生のクラスで発表するなど、工夫する。
			②1年生を むかえよう	3	
2	(7)	2. 大きくなあれ わたしの 野さい	①野さいを そだてよう	2	・秋に育てられる野菜（大根等）を取り入れるなど工夫する。※春から栽培するのに適している野菜については、教科書を使って話題に取り上げる。 ・休み時間等を利用して、水やりや草取りなどの世話を継続的に行う。
			②野さいの せわを つづけよう	—	
			③野さいを しゅうかくしよう	1	
			④野さいの ことを まとめよう	2	
3		5時間			
3	(3)	3. どきどき わくわく まちたんけん	①まちの ことを 話そう	—	・まちたんけんについては、「7. もっと な かよし まちたんけん」の単元で扱う。 ・町探検等でのルールやマナー（道の歩き方、信号の渡り方など）については、教科書で扱うが、保護者にも伝え、町に出掛けた際に指導してもらおうなど工夫する。
			②まちたんけんの 計画を 立てよう	—	
			③まちたんけんに行こう	家庭	
			④見つけた ことを 教え合おう	—	
3	(7)	4. 生きもの なかよし 大作せん	①生きものを さがしに 行こう	2	・秋の生きものについて図鑑やPCを使って調べる。 ・校庭で秋の生きものを探したり、観察したりする機会を減らす。 ・生きものの飼い方について調べる活動を中心に行う。餌をあげたり世話をしたりすることは、常時行う。 ・世話の仕方を振り返り、自分で気付いたことや分かったことをまとめ、友達と伝え合う。 ※少人数で伝え合うなど伝え方の形態や、児童一人一人のまとめたものを教室や廊下に掲示するなど、全体での共有の仕方を工夫する。
②生きものを とりに 行こう			2		
③生きものを そだてよう			1		
④生きもの の ことを つたえよう			2		
4					
5					
6	(6)	5. うごく うごく わたしの おもちゃ	①うごく おもちゃをつくろう	3	・友達と比べたり、工夫したところを教え合ったりする機会を減らす。 ・みんなで遊ぶための会場の準備の時間を減らす。
②もっと くふうしよう			2		
③あそび方を くふうしよう			4		
7					
8					
9	(4)	6. みんなでつかう まちの しせつ	①図書館に行こう	—	・この単元については、「8. つたわる 広がる わたしの 生活」の単元で扱う。
②図書館の ことを 聞いて みよう			—		
10	(3)	7. もっと なかよし まちたんけん	①まちたんけんの 計画を 立てよう	2	・自分たちの町の地図を見て、自分がインタビューしたいお店などを決める。 ・インタビューの内容を決めて、電話や手紙でやりとりするなど、地域の人々との関わり方を工夫する。 ・地域の人々に関わる機会を削減する。
10			②もう いちど たんけんに行こう	2	
11			③まちの 人と なかよくなるよう	—	
11			④なかよくなった 人の ことを しょうかいしよう	3	
12	(3) (4) (8)	8. つたわる 広がる わたしの 生活	①つたえたいな まちの すてきな できごと	—	・この単元については、「7. もっと なかよし まちたんけん」の単元で扱う。 ・伝えたい地域の人と伝えることを決め、作品をつくる。※なるべく簡単な方法でまとめる。 ・地域の人に聞きたいことを決めて、電話等で聞き、それをもとに作品を改良する。 ・作品を互いに紹介し合う。 ※少人数で伝え合うなど伝え方の形態や、児童一人一人のまとめたものを教室や廊下に掲示するなど、全体での共有の仕方を工夫する。
11			②つたえる じゅんびを しよう	3	
12			③もっと くわしく しらべよう	2	
13			④まちの すてきを つたえよう	3	

14	(9)	9. あしたへ ジャンプ	①大きくなった自分のことを ふりかえろう	3	
15			②大きくなった自分のことを しらべよう	3	
16 17 18 19 20			③大きくなった自分のことを まとめよう	8	・自分の成長をまとめる時間を減らす。
			④ありがとう はっぴょう会を ひらこう	7	・発表会の形態ではなく、手紙で感謝の気持ちを伝えるなど工夫する。
21			24時間 ⑤すてきな 3年生に なろう	3	

※時間数の精選方法（例）

○小単元をまとめて指導する。

- ・町探検など複数の単元で扱う活動については、まとめて指導することで、授業時間の削減になります。

<例>・「3. ときどき わくわく まちたんけん」と「7. もっと なかよし まちたんけん」を合わせて町探検の回数を減らす。

- ・「6. みんなで つかう まちの しせつ」を「8. つたわる 広がる わたしの 生活」で地域にある公共施設や地域を支えている人々について調べる活動で補う。 など

○具体的な活動や体験を通して気付いたことなどを伝え合う活動を工夫する。

- ・具体的な活動や体験を通して気付いたことなどを伝え合う活動について、伝え方の形態や全体での共有の仕方を工夫することで、授業時間の削減になります。

<例>・少人数で伝え合うなど伝え方の形態を工夫する。

- ・児童一人一人のまとめたものを教室や廊下に掲示する。 など

○地域の人々と関わる活動を工夫する。

- ・地域に出掛けて、地域の人々にインタビューする方法を工夫することで、授業時間の削減になります。

<例>・インタビューを、電話や手紙でやりとりする。 など

○家庭での実践で補う。

- ・生活上必要な習慣や技能について、家庭で実践することで、授業時間の削減になります。その際、家庭への丁寧な説明が必要になります。

<例>・町探検等でのルールやマナー（道の歩き方、信号の渡り方など） など